

平成29年度 分科会施策の管理シート

分科会名	いきいき世代づくり分科会	会長	金光 俊尚
------	--------------	----	-------

重点項目	障害者の雇用機会の増大に向けた施策の推進	数値目標	【達成時期】 平成29年度末 【目標値】 就労移行支援事業所等から一般就労への移行者を10人	分科会事務局	健康医療課
------	----------------------	------	---	--------	-------

【施策名・概要】	期 初(前年度末まで)		期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ	
	【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基くのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる (水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	分科会事務局 施策の進捗状況	分科会の意見 見直し、課題、助言等の内容	分科会事務局 実績及び成果に係る自己評価 評価		分科会の評価 達成度・成果について 評価
1	府中市自立支援協議会(就労支援部会)での取組 一般企業と障害者就労支援事業所との協議の場を持つなど障害者雇用のマッチングを検討し、実施する。また、一般企業もしくは障害者に向けて、障害者雇用に関する講演会等を実施する。	障害者就労支援事業所等から一般就労への移行者は、進んでいない現状があるため。	就労移行支援事業所等から一般就労への移行者が10人以上となる。	H29年9月末現在の一般就労移行実績は3人 一般就労への移行者数が目標に達するよう、障害者雇用実施企業による成功体験講演会(H30.1開催予定)を行い、企業への啓発に努める	【助言】市役所職員の障害者の受験資格の年齢が35歳までとなっているが、採用年齢の拡大を図ることで障害者の雇用率も上がるのではないかと。	障害者就労支援事業所等から一般就労移行者数:計6件…目標未達成。 (目標:10人以上) 企業研修会には、13社15人の一般参加有。A型事業所しあわせの庭離職者には就職面接会等の支援を行い、上記以外4人が一般就労できた。	特に意見なし △	【進捗管理】 要
2	障害者就労支援施設等からの物品等優先調達取組 4月に物品等優先調達の状況調査を行い、優先調達が可能と思われる業務を検討し、8月までに各課へ直接斡旋する。就労支援部会で、新たな役務及び生産品の開発を協議し、3月には新たな業務開始または生産品の製作に着手する。	障害者就労支援施設等を利用する障害者の工賃の改善を図る必要があるため。	障害者就労支援施設等からの物品等優先調達する業務を5業務以上とする。	本年度の優先調達業務は6業務の予定(昨年度の4業務から2件増) 目標値達成が確実なものとなるよう、各課に働きかける。また、来年度に向け、新年度予算編成時に各課に対して優先調達役務・物品を再度周知する		障害者就労支援施設等からの物品等優先調達業務数:8業務…目標達成。 (目標:5業務以上) 物品購入(弁当)については、一部の注文に施設が対応できず減額となったが、新たな業務の調達もあった。	○100%以上達成しているため、評価は「◎」がよいのではないかと。	【進捗管理】 要
3	障害者差別解消法の啓発取組 障害者差別解消法の啓発活動として、障害者週間記念事業を実施する。(12月) 障害者差別解消支援協議会で差別事例の検討等を行う。	障害者の雇用を促進するためには、社会への参加を制約している社会的障壁を取り除く努力をする必要があるため。	障害者週間記念事業への一般参加者を、平成28年度の52名から60名以上とする。	「障害者週間」記念事業はH29.12.9開催 障害がある人も一般参加者も楽しむことができる神楽講演の会場内に障害者施設を知っていただくための展示を行う 一般参加者数が目標に達成するよう、広報紙・チラシ配布等で周知を図る		障害者週間記念事業への一般参加者数:50名…目標未達成。 (目標:60名以上) 一般参加者の来場者を増やす取り組みが不足していた。障害者差別解消支援協議会では、事例検討に変え、研修会への協議会委員の参加を企画した。	○80%以上達成しているため、評価は「○」がよいのではないかと。	【進捗管理】 要
4								
5								

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たったプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項	【助言】府中市では以前から障害者への支援施策を行っているが、その社会的成果が市民に伝わっていない。パンフレットを作成するなど、日ごろから絶えず取り組み成果が伝わるようなPRが必要。
------	--